

核兵器は廃絶できる

核兵器禁止条約の意義と日本の課題

川崎哲



Peace Boat

The floating peace village











ピースボートのおりづるプロジェクト

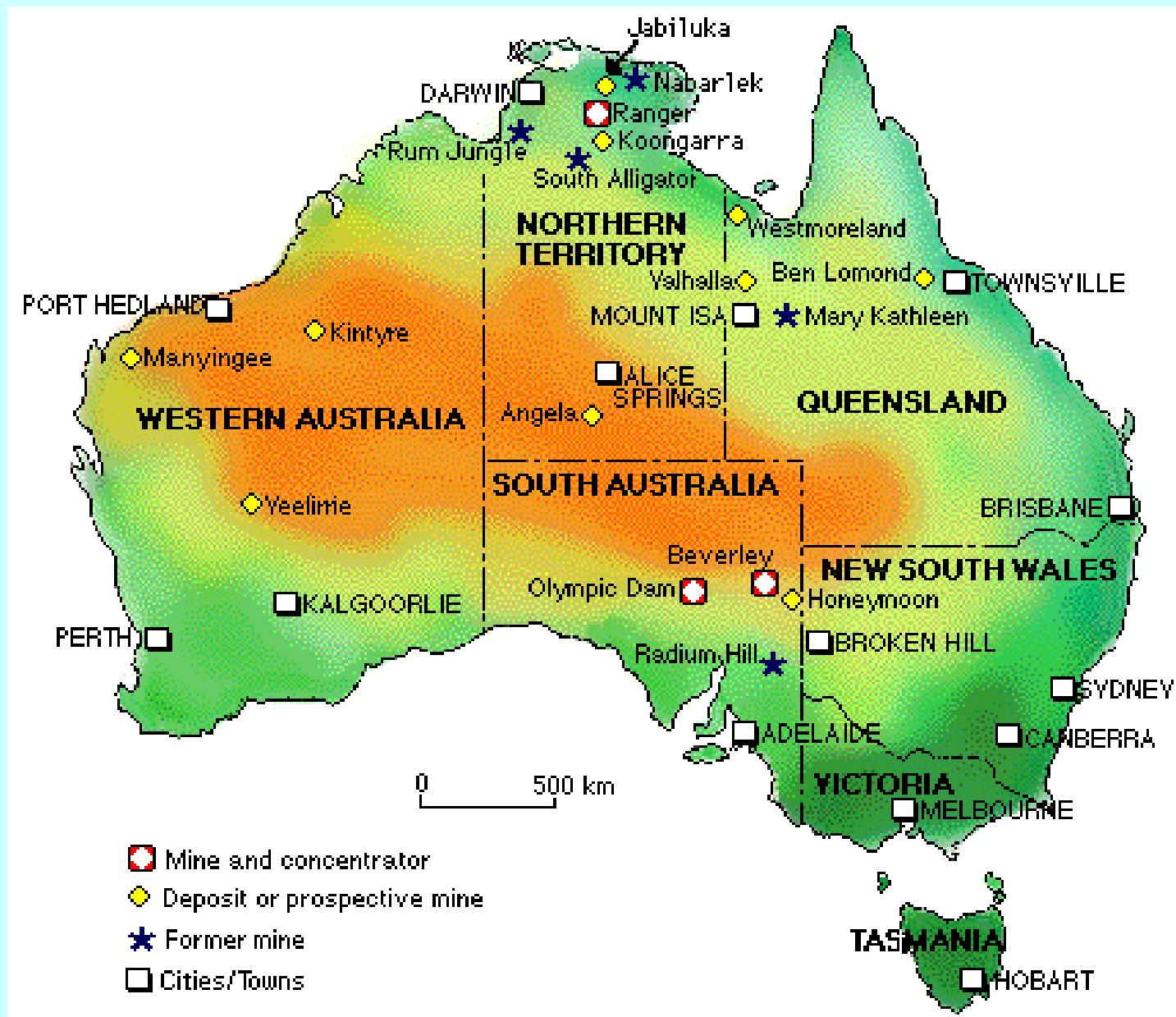
ヒバクシャ地球一周 証言の航海







オーストラリアのウラン鉱山



核のプロセスはウラン採掘から始まる



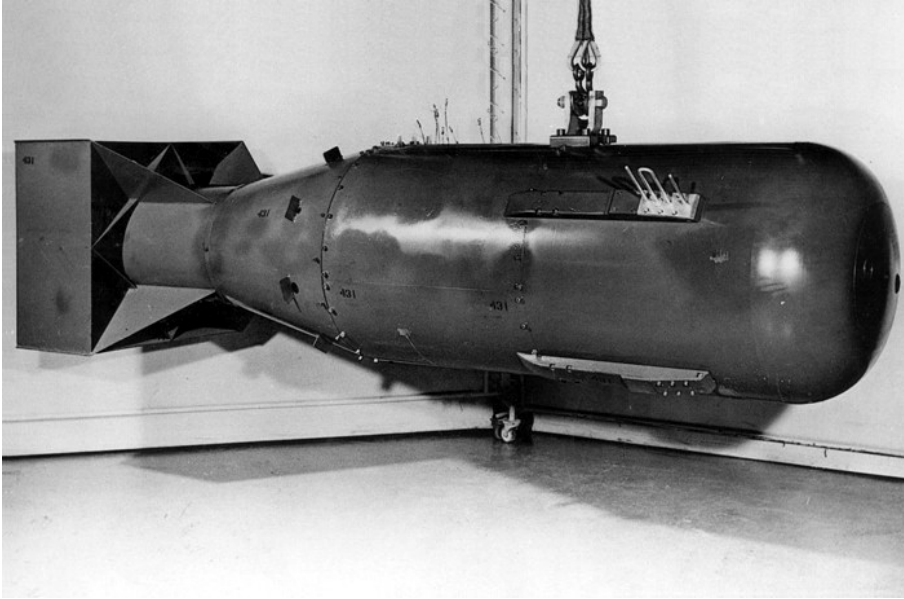


太平洋での水爆実験





広島・長崎への原爆投下

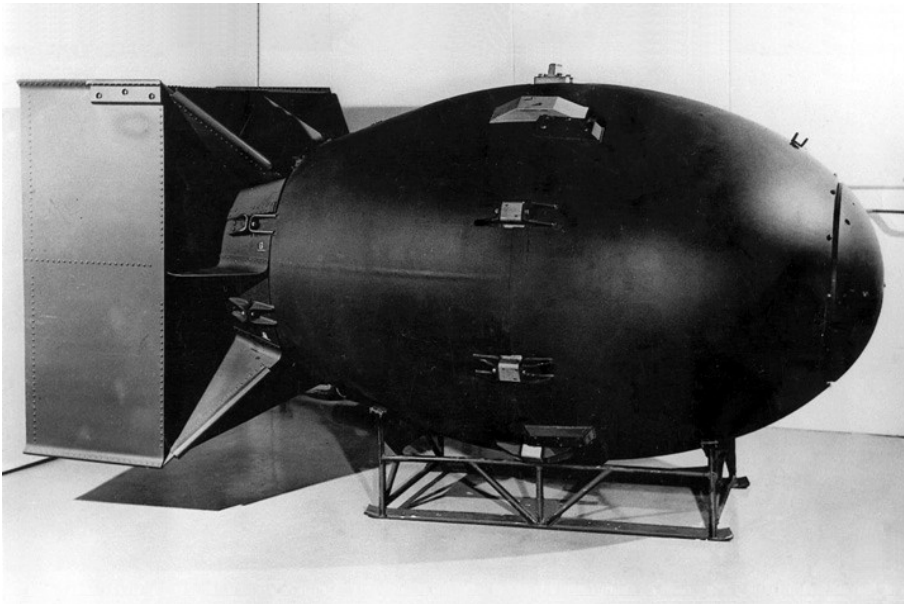


広島 「リトル・ボーイ」

1945.8.6

濃縮ウランを使用

(威力15キロトン)



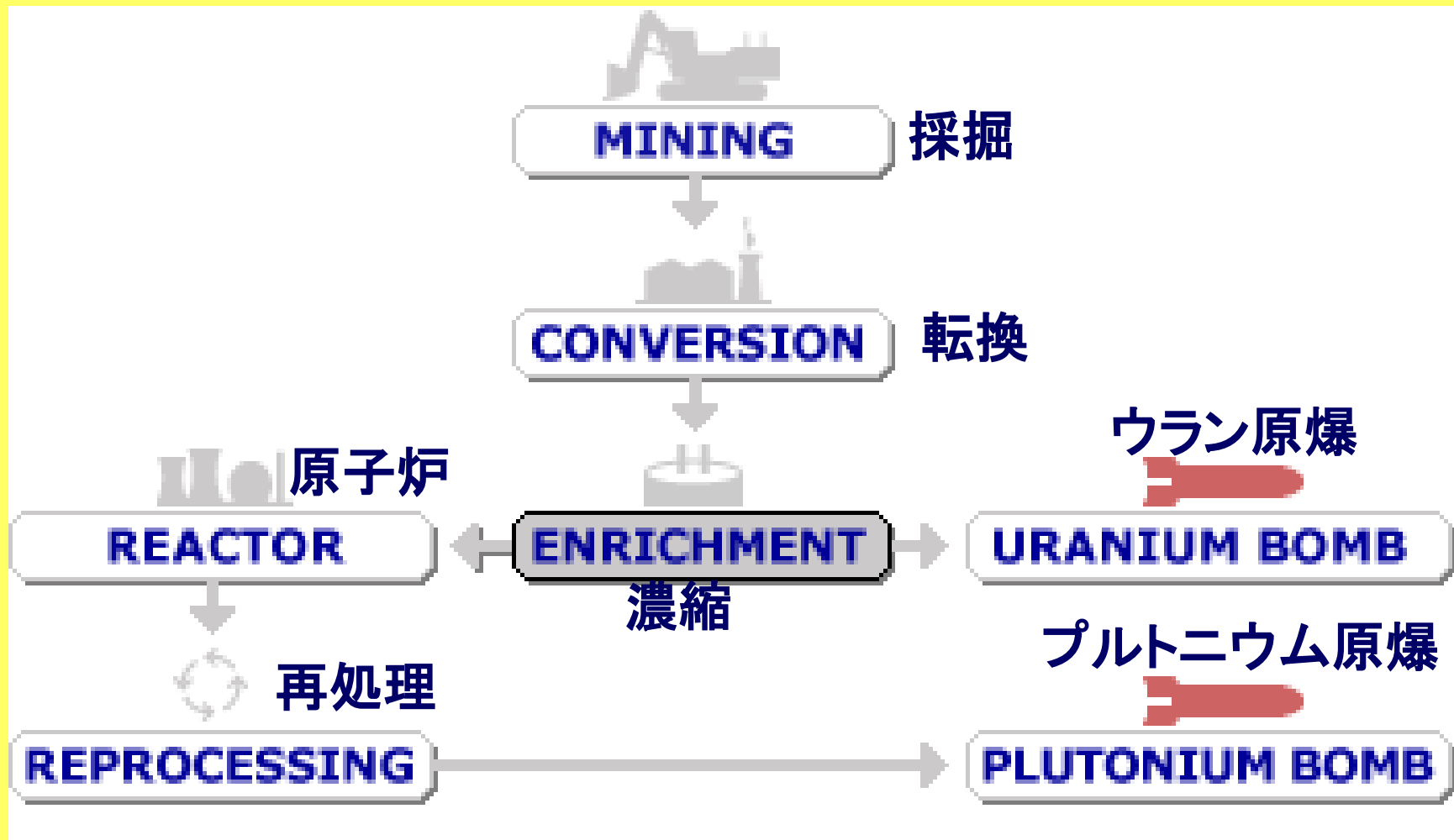
長崎 「ファット・マン」

1945.8.9

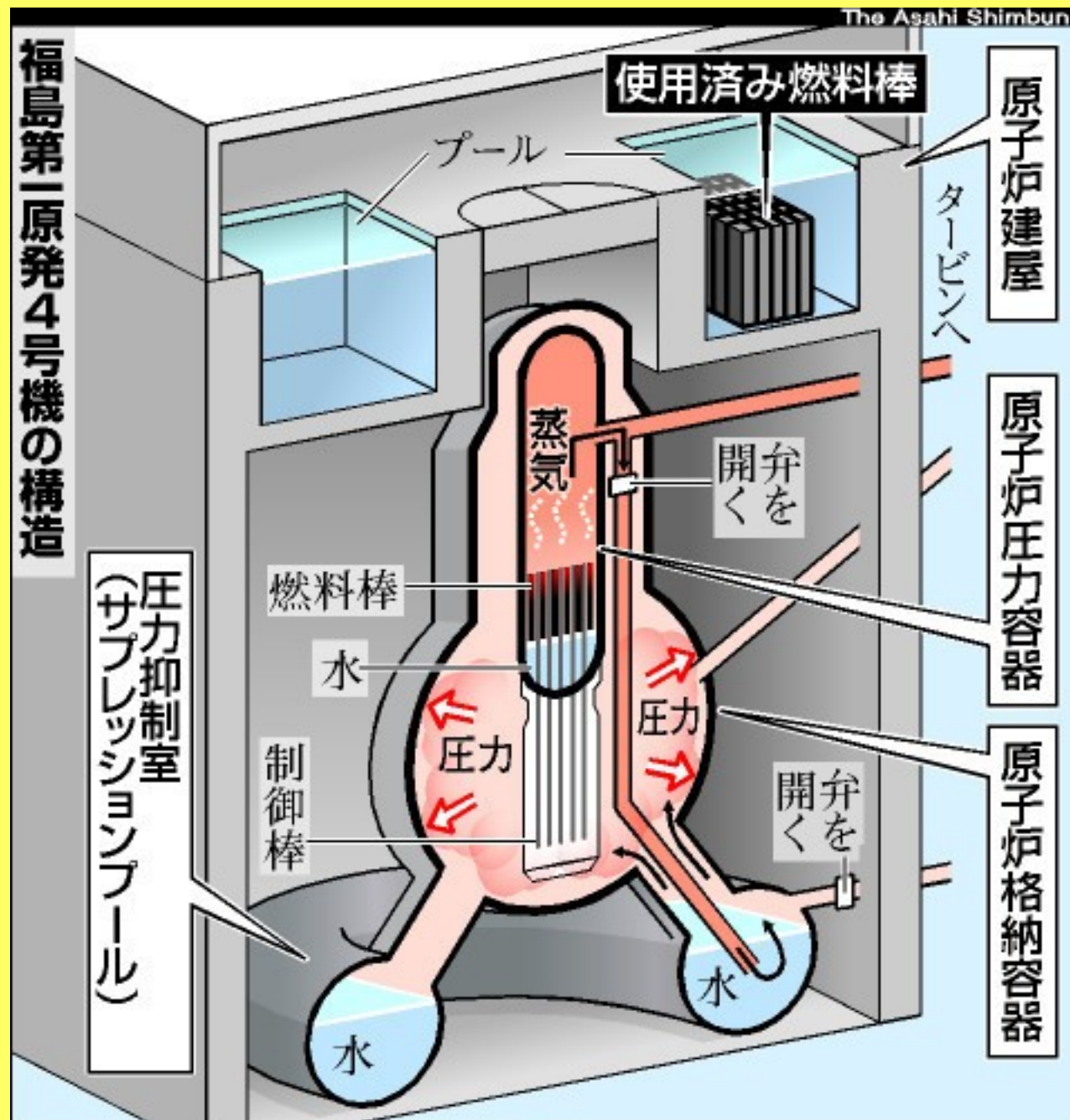
プルトニウムを使用

(威力20キロトン)

核燃料サイクル Nuclear Fuel Cycle



原子炉 Reactor

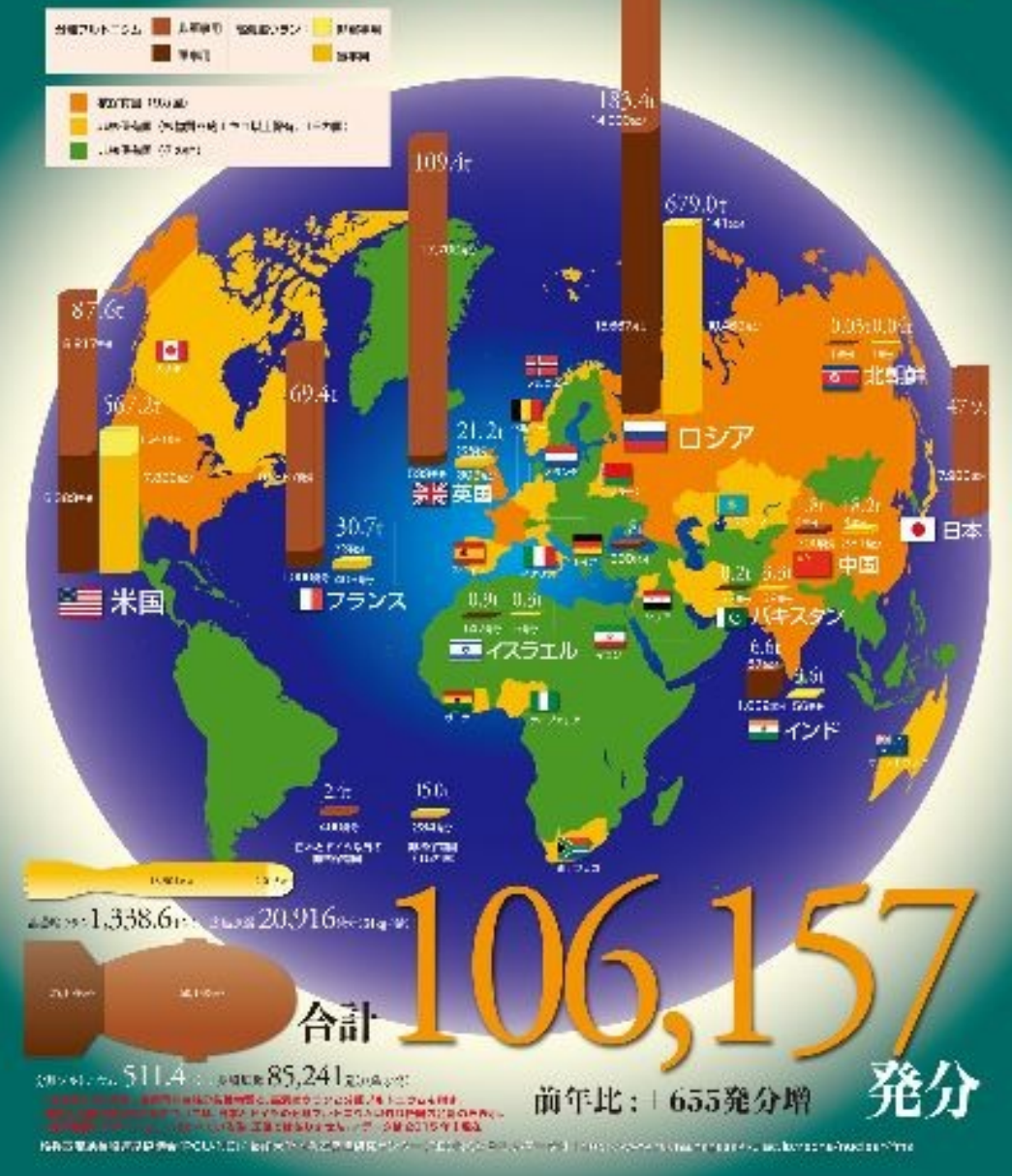


使用済み燃料の再処理工場

Reprocessing Plant of Spent Fuel



核兵器に使われる恐れがある
世界の核物質データ 2017.6



日本は約48トンのプルト
ニウムを保有
＝核兵器7～8,000発分

長崎大学核兵器廃絶研究センター

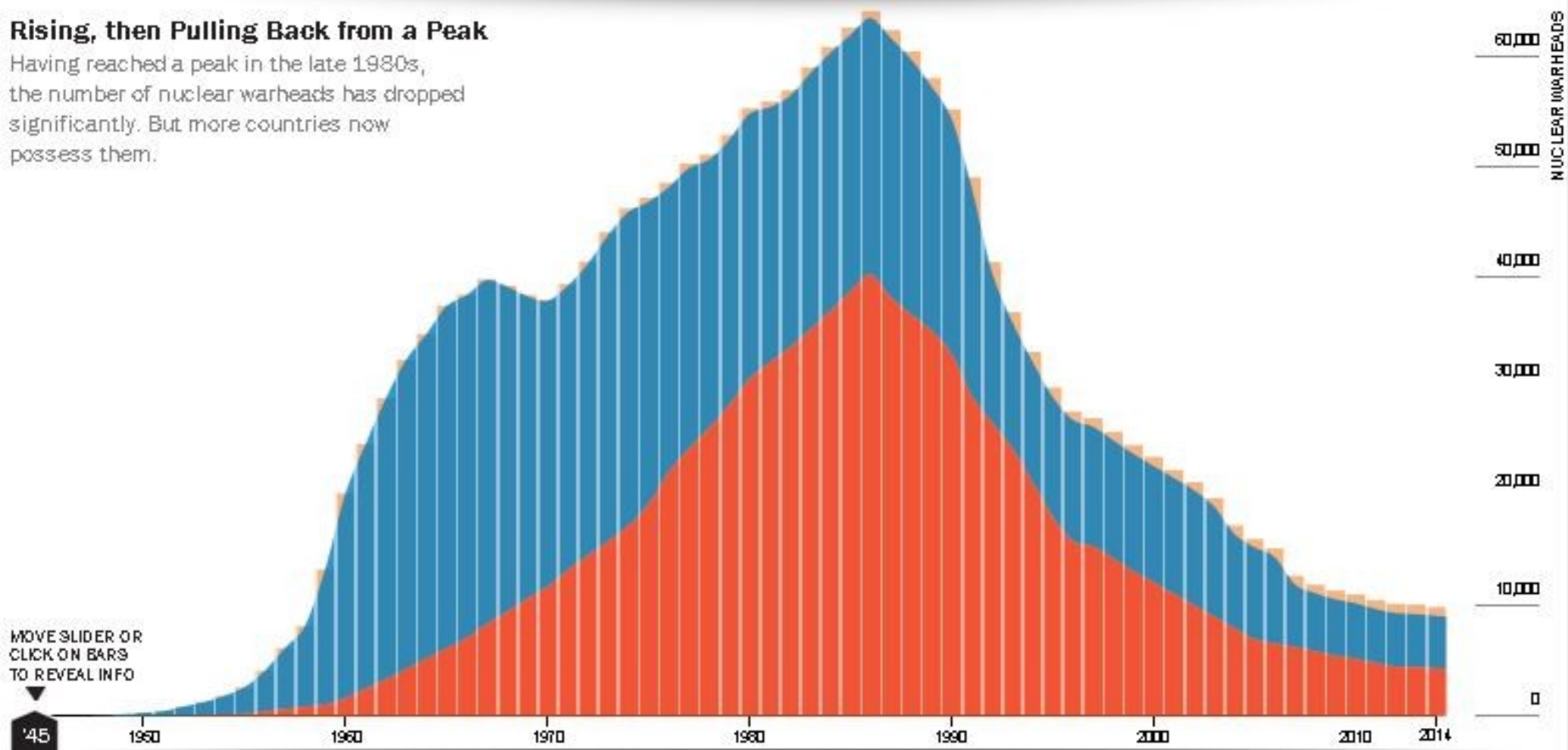
世界には約1万5000発の核兵器

	アメリカ	ロシア	イギリス	フランス	中国	インド	パキスタン	イスラエル	北朝鮮	計
配備	1,930	1,790	120	280	260	100 ～120	110 ～130	80	10	4,120
その他	5,070	5,500	95	20						11,275
計	7,000	7,290	215	300						15,395
全体の93パーセント										
			NPT上の「核兵器国」			NPT外の「事実上の核保有国」				

2016年1月現在。出典：ストックホルム国際平和研究所(SIPRI)

Rising, then Pulling Back from a Peak

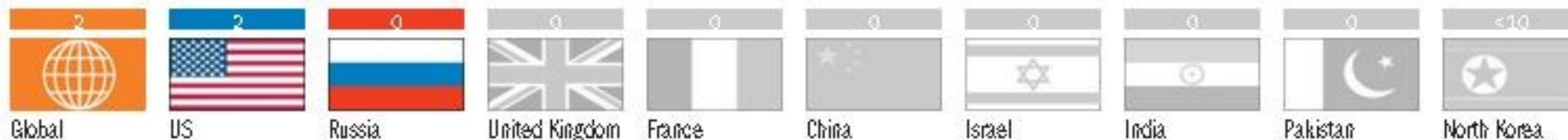
Having reached a peak in the late 1980s, the number of nuclear warheads has dropped significantly. But more countries now possess them.



STOCKPILED WARHEAD COUNT BY YEAR

CLICK A FLAG TO HIDE OR REVEAL

COMPARATIVE CUMULATIVE



Source: The Bulletin of the Atomic Scientists' Nuclear Notebook, written by Hans M. Kristensen and Robert S. Norris, Federation of American Scientists

数は減ったが、脅威は高まる

**Bulletin
of the
Atomic
Scientists**

IT IS TWO AND A HALF MINUTES TO MIDNIGHT®





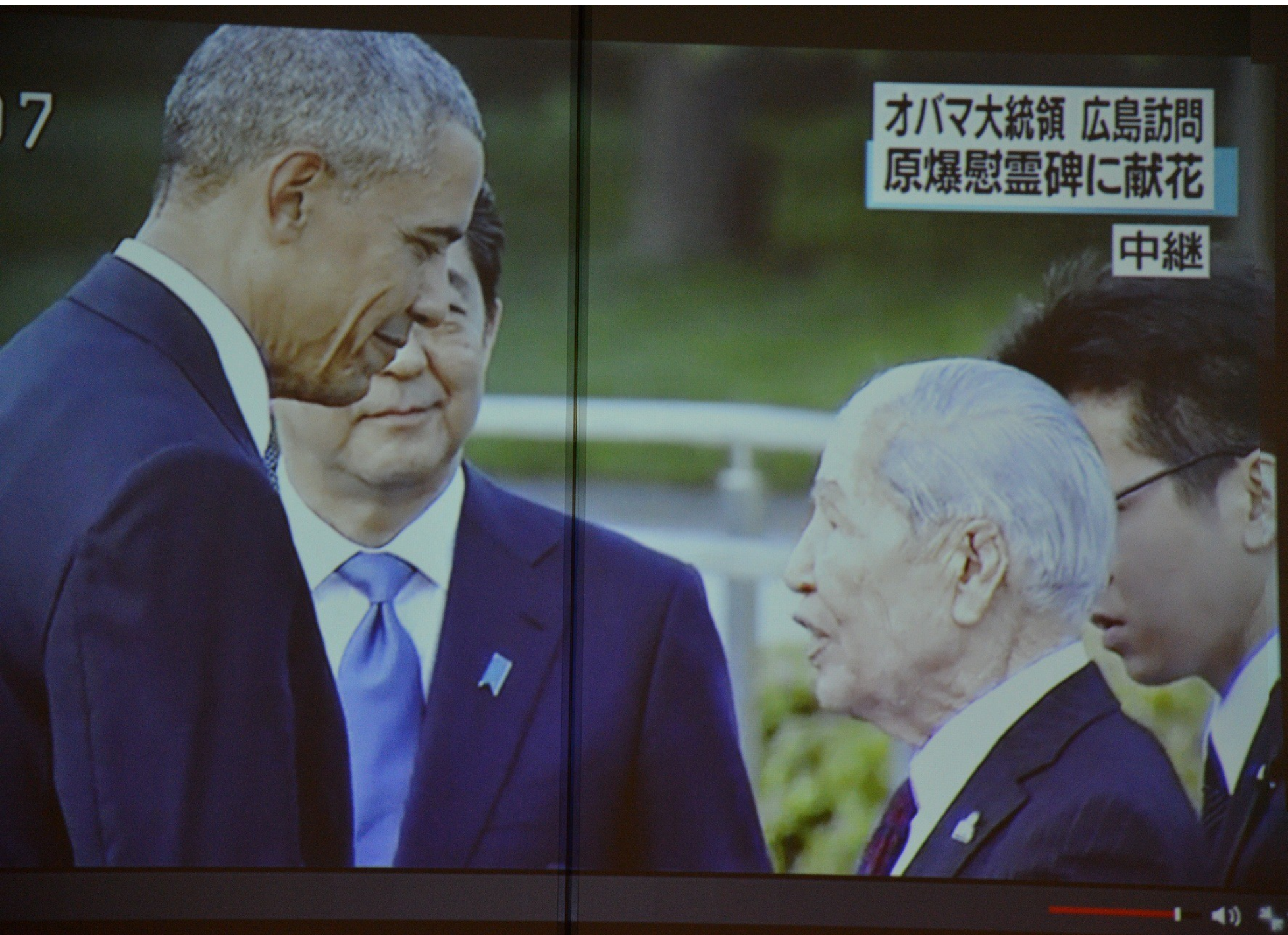
United Nations Office
for Disarmament Affairs



must be **ZERO.**

オバマ大統領 広島訪問
原爆慰霊碑に献花

中継



核不拡散条約 (NPT)

- 1970 発効
- 核兵器国 5力国
米・口・英・仏・中
- 非核兵器国 186力国
- 非核兵器国は核を持たない(不拡散)
- かわりに核兵器国は核軍縮する(NPT第6条)



NPT再検討会議



1995

NPT無期限延長

究極的核廃絶に向け努力
中東決議

2000

核廃絶達成への明確な約束

13項目の軍縮措置に合意

- 包括的核実験禁止条約
(CTBT)の発効

- 兵器用核分裂性物質生産
禁止条約(FMCT)の交渉
など

2005

合意ゼロ

2010

64項目の行動計画

中東非核地帯

2010年、核兵器の「非人道性」を訴える声



■2010年4月
赤十字国際委員会(ICRC)総裁「核の時代に終止符を」



■2010年NPT再検討会議
核兵器使用がもたらす「破滅的な人道上の結果」への深い憂慮、国際人道法の重要性
→「核兵器禁止条約」提案に「留意」



HUMANITARIAN IMPACT
OF NUCLEAR WEAPONS
Oslo, Norway 4-5 March 2013







経過

2010.4 赤十字国際委員会(ICRC)の声明

5 NPT再検討会議、核兵器禁止条約に留意

2012.5 核の非人道性に関する共同声明(16カ国)

2013.3 核の非人道性に関するオスロ会議

10 日本、非人道性共同声明に参加

2014.2 核の非人道性に関するナジャリット会議

12 核の非人道性に関するウィーン会議

2015.1 人道の誓約

5 NPT再検討会議、禁止条約を議論

2016.2～8 禁止条約に関する国連作業部会

12 禁止交渉開始のための国連決議71/258



核兵器禁止条約交渉会議

●国連総会決議 71/258
核兵器の全廃につながるような、核兵器を禁止する
法的拘束力ある文書（＝条約）を交渉する国連会議

●議長 エレイン・ホワイト大使（コスタリカ）

●コア・グループ
オーストリア、ブラジル、
アイルランド、メキシコ、
ナイジェリア、南アフリカ
＋ I C R C

●会議の日程
3月27～31日
6月15日～7月7日





市民社会の参加、被爆者の発言



開会にあたりスピーチする藤森俊希・日本被団協事務局次長(左)



豪州の核実験被害者スー・コールマンさんと在加被爆者サーロー節子さん(右上)



核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)メンバーら(右下)





2017. 7. 7 核兵器禁止条約、採択



核兵器禁止条約

Treaty on the Prohibition of Nuclear Weapons

Voting Ended			7/7/2017	10:47:53 AM
Item 9, A/CONF.229/2017/L.3/Rev.1				
Draft treaty on the prohibition of nuclear weapons				
AFGHANISTAN	CAMEROON	FRANCE	KUWAIT	NEPAL
ALBANIA	CANADA	GABON	KYRGYZSTAN	NETHERLANDS
ALGERIA	CENTRAL AFR REP....	GAMBIA	LAO PDR	NEW ZEALAND
ANDORRA	CHAD	GEORGIA	LATVIA	NICARAGUA
ANGOLA	CHILE	GERMANY	LEBANON	NIGER
ANTIGUA-BARBUDA	CHINA	GHANA	LESOTHO	NIGERIA
ARGENTINA	COLOMBIA	GREECE	LIBERIA	NORWAY
ARMENIA	COMOROS	GRENADA	LIBYA	OMAN
AUSTRALIA	CONGO	GUATEMALA	LIECHTENSTEIN	PAKISTAN
AUSTRIA	COSTA RICA	GUINEA	LITHUANIA	PALAU
AZERBAIJAN	COTE D'IVOIRE	GUINEA-BISSAU	LUXEMBOURG	PANAMA
BAHAMAS	CROATIA	GUYANA	MADAGASCAR	PAPUA NEW GUINEA
BAHRAIN	CUBA	HAITI	MALAWI	PARAGUAY
BANGLADESH	CYPRUS	HOLY SEE	MALAYSIA	PERU
BARBADOS	CZECH REPUBLIC	HONDURAS	MALDIVES	PHILIPPINES
BELARUS	DEM PR OF KOREA	HUNGARY	MALI	POLAND
BELGIUM	DEM REP OF THE CO...	ICELAND	MALTA	PORTUGAL
BELIZE	DENMARK	INDIA	MARSHALL ISLANDS	QATAR
BENIN	DJIBOUTI	INDONESIA	MAURITANIA	REP OF KOREA
BHUTAN	DOMINICA	IRAN (ISLAMIC REP...)	MAURITIUS	REP OF MOLDOVA
BOLIVIA (PLURINATI...	DOMINICAN REP...	IRAQ	MEXICO	ROMANIA
BOSNIA-HERZEGOVINA	ECUADOR	IRELAND	MICRONESIA (FS)	RUSSIAN FED...
BOTSWANA	EGYPT	ISRAEL	MONACO	RWANDA
BRAZIL	EL SALVADOR	ITALY	MONGOLIA	SAINT KITTS-NEVIS
BRUNEI DARUSSALAM	EQUATORIAL GUINEA	JAMAICA	MONTENEGRO	SAINT LUCIA
BULGARIA	ERITREA	JAPAN	MOROCCO	SAINT VINCENT-GRE...
BURKINA FASO	ESTONIA	JORDAN	MOZAMBIQUE	SAMOA
BURUNDI	ETHIOPIA	KAZAKHSTAN	MYANMAR	SAN MARINO
CABO VERDE	FIJI	KENYA	NAMIBIA	SAO TOME-PRINCIPE
CAMBODIA	FINLAND	KIRIBATI	NAURU	SAUDI ARABIA
				SENEGAL
				SERBIA
				SEYCHELLES
				SIERRA LEONE
				SINGAPORE
				SLOVAKIA
				SLOVENIA
				SOLOMON ISLANDS
				SOMALIA
				SOUTH AFRICA
				SOUTH SUDAN
				SPAIN
				SRI LANKA
				STATE OF PALESTINE
				SUDAN
				SURINAME
				SWAZILAND
				SWEDEN
				SWITZERLAND
				SYRIAN ARAB REP...
				TAJIKISTAN
				THAILAND
				THE FYR MACEDONIA
				TIMOR-LESTE
				TOGO
				TONGA
				TRINIDAD-TOBAGO
				TUNISIA
				TURKEY
				TURKMENISTAN
				TUVALU
				UGANDA
				UKRAINE
				UNITED ARAB EMIR...
				UNITED KINGDOM
				UNITED REP TANZA...
				UNITED STATES
				URUGUAY
				UZBEKISTAN
				VANUATU
				VENEZUELA
				VIET NAM
				YEMEN
				ZAMBIA
				ZIMBABWE
	IN FAVOUR: 122			AGAINST: 1
	ABSTENTION: 1			

A/CONF.229/2017/L.3/Rev.1

交渉会議には130カ国以上が参加

2017.7.7 賛成122、反対1(オランダ)、棄権1(シンガポール)で採択



前文

- ・国連憲章の原則
- ・核がもたらす破滅的な人道上の結末／リスク
- ・倫理上の要請
- ・ヒバクシャと核実験被害者が受けてきた苦しみ
- ・先住民族への影響、女性への影響
- ・国際人道法の原則
- ・いかなる核の使用も国際人道法に違反し、人道の諸原則・公共の良心に反する
- ・核軍縮の遅さと核兵器に依存した軍事政策を憂慮
- ・NPT(礎石)とCTBT(・検証)の重要性
- ・平和軍縮教育
- ・赤十字、NGO、宗教者、議員、ヒバクシャの役割

第1条(禁止)

締約国は、**いかなる場合も**以下のことを行わない

- a) 核兵器の開発、実験、生産、製造、取得、保有、貯蔵
- b, c) 核兵器やその管理の移譲(直接、間接)
- d) 核兵器の使用、使用するとの威嚇
- e, f) これらの行為をいかなる形でも**援助、奨励、勧誘**すること
- g) 自国内に配置、設置、配備

第2条(申告)、第3条(保障措置)、 第4条(核兵器の完全廃棄)

第2条(申告)

核を「持っていたが廃棄した」か、「持っている」か、
「他国の核を置いている」か30日以内に申告

第3条(保障措置)

IAEA保障措置(包括的保障措置)を最低限維持

第4条(廃棄)

- 「持っていたが廃棄した」国→検証
- 「持っている」国→廃棄プランを策定、実施・検証
- 「他の国の核を置いている」国→速やかに撤去
- 定期報告義務
- 国際機関(international authority or authorities)

第6条(被害者援助と環境回復)

第5条(国内履行措置)

第6条(被害者援助と環境回復)

- ・核兵器の使用・実験で被害を受けた人々に医療的・社会的・経済的援助を行う義務
- ・核兵器の使用・実験に関連する活動で汚染された環境を回復する義務

第7条(国際協力と援助)

核兵器を使用・実験した国の援助責任

制度的取り決め

第8条 締約国会議、再検討会議

- ・検証可能、不可逆的、時間枠をもった核廃棄に関わる措置(議定書)
- ・非締約国、市民社会もオブザーバーとして招待される

第9条(費用)、第10条(改正)、第11条(紛争の解決)

第12条(普遍化)

第13～14条 署名 2017年9月20日から

第15条 発効 50力国

第16条 留保 なし

第17条 脱退 12力月前。武力紛争時は義務残る

第18条 他の条約との関係

この条約の義務と矛盾しない限り他条約を害せず

第19条 寄託者、第20条 正本

日本は「反対」



午前8時すぎ

NEWS

岸田 文雄 外務大臣
広島1区選出

核兵器禁止、交渉へ決議
日本は「反対」 被爆国がなぜ？

核兵器国と非核兵器国の間の対立を
一層 助長し

ヒバクシャ国際署名



今後の課題

第1の課題

署名・批准の促進 → 50力国で発効/被爆者の役割

第2の課題

核兵器禁止条約の存在についての広報、教育

第3の課題

核の傘下国の核政策 核使用・威嚇の「援助、奨励」

第4の課題

将来的加入を視野に入れた関与 検証等精緻化

第5の課題

企業・金融機関への働きかけ







Ban Nuclear Weapons Now!

核兵器禁止条約を今こそ! 지금이야말로 핵무기 금지조약을

ican
International campaign
to abolish nuclear weapons

**PEACE
BOAT**

**KOREA
GREEN FOUNDATION**



核兵器を禁止する



川崎 哲

核兵器を禁止する

川崎 哲

参考：
川崎哲
岩波ブックレット
「核兵器を禁止する」



kawasaki@peaceboat.gr.jp

国際法で禁止されていない唯一の
大量破壊兵器、核兵器。
いま、世界で注目される
「核兵器禁止条約」を解説！



わかる、使えるくはじめの1冊>
岩波ブックレット

定価（本体520円＋税）

岩波ブックレット
906